組織の変遷

1897年（明治30年）　米麦原種育成場

1919年（大正８年）　①-1 農事試験場

1921年（大正10年）

1932年（昭和７年）　①-2 柑橘試験地

1934年（昭和９年）　①-3 農道講習 藍野塾

1936年（昭和11年）　①-4 盾津試験地

1938年（昭和13年）　①-5 種畜場　③-1 水産指導所

1939年（昭和14年）　藍野塾　大阪府農会技術員養成所　①-6 岸和田試験地

1942年（昭和17年）　③-2 水産試験場

1950年（昭和25年）　藍野農場　農業講習所　農業試験場

1955年（昭和30年）　②　寝屋川養魚場

1957年（昭和32年）　①-7 能勢試験地

1960年（昭和35年）　材木育種場　能勢分場

1963年（昭和38年）　①-8 能勢種畜場　能勢農場　①-9 農林技術センター　柑橘母樹園

1964年（昭和39年）

1967年（昭和42年）　④　淡水魚試験場　③-3

1968年（昭和43年）　公害監視センター

1983年（昭和58年）　緑化センター　[1984(昭和59)年まで]

1997年（平成９年）　[1997(平成９)年まで]

1998年（平成10年）

1999年（平成11年）　おおさか府民牧場

2001年（平成13年）

2002年（平成14年）　環境情報センター　食とみどりの総合技術センター　水生生物センター

2007年（平成19年）　大阪府環境農林水産総合研究所　・機関統合　環境科学センター　食とみどり技術センター　水産技術センター

2012年（平成24年）　地方独立行政法人大阪府立環境農林水産総合研究所
・地方独立行政法人化
・第１期中期目標期間スタート

2016年（平成28年）
・第２期中期目標期間スタート
・環境科学センターを羽曳野に移転集約
大阪府立環境農林水産総合研究所

2018年（平成30年）
・生物多様性センター設立
生物多様性センター

Research Institute of Environment, Agriculture and Fisheries, Osaka Prefecture　Research Institute of Environment, Agriculture and Fisheries, Osaka Prefecture　Research Institute of Environment, Agriculture and Fisheries, Osaka Prefecture

施設の所在地

①-7
能勢試験地・能勢農場
(1957-1997)
①-8
種畜場能勢分場・能勢種畜場
(1960-1998)
①-3
農道講習藍野塾 (1934-1963)
①-5
種畜場 (1938-1963)
②
水産試験場寝屋川養魚場 (1955-1967)
淡水魚試験場 (1967-2002)
水生生物センター (2002-2018)
生物多様性センター (2018-)
①-1
農事試験場 (1919-1950)
農業試験場 (1950-1963)
①-4
盾津試験地
(1936-1963)
③-2
水産試験場
(1942-1967)
④
公害監視センター
(1968-2002)
環境情報センター
(2002-2007)
環境科学センター
(2007-2016)
①-6
岸和田試験地 (1939-1963)
③-1
水産指導所
(1938-1942)
①-9
農林技術センター (1963-2002)
食とみどりの総合技術センター
(2002-2007)
食とみどり技術センター
(2007-2016)
環境農林水産総合研究所
(2016-)
①-2
柑橘試験地 (1932-1963)
柑橘母樹園 (1963-1984)
③-3
水産試験場 (1967-2007)
水産技術センター (2007-)